



三枚町防災通信

防災部

月に一回、回覧板で、防災に役立つ情報をお知らせしていきます。

防災は地震だけではありません！

8月号のテーマ 「大雨・洪水への備えを確認しましょう」



これまで、地震への備えを中心にお知らせしてきました。でも近年は大雨による浸水や土砂災害も多く発生しています。8月を機会に、水害への備えを確認しましょう。

地震と水害では避難のしかたが違います。

	地震のとき	水害・土砂崩れの危険があるとき
避難の考え方	災害が起きてから避難	危険が来る前に避難
避難する状況	震度5強以上で、自宅にいては危険な場合、地域防災拠点に避難	高齢者などは 警戒レベル3以上 で、そうでない人も 警戒レベル4以上 で、近隣や自宅の高い場所に「垂直避難」するか、指定緊急避難場所などに「水平避難」する。

地域防災拠点や指定緊急避難場所は学校です(上三枚町: 羽沢小、下三枚町: 神大寺小)が、水害時には災害の状況に応じて開設されます。避難するときは、市からの避難情報を確認しましょう。

横浜市ホームページでは「指定緊急避難場所は、災害規模、状況によって開設を判断するため、災害が発生しても、すべての避難場所を開設するとは限りません。また、指定場所以外にも、地区センターや地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。避難する際は、行政(市ホームページ、横浜市防災情報Eメール、広報車両等)からの避難情報を確認しましょう。」と説明しています。

水害は地震に比べてあるていど見通しが立つので、**早めの情報収集と避難の準備が大事です。**

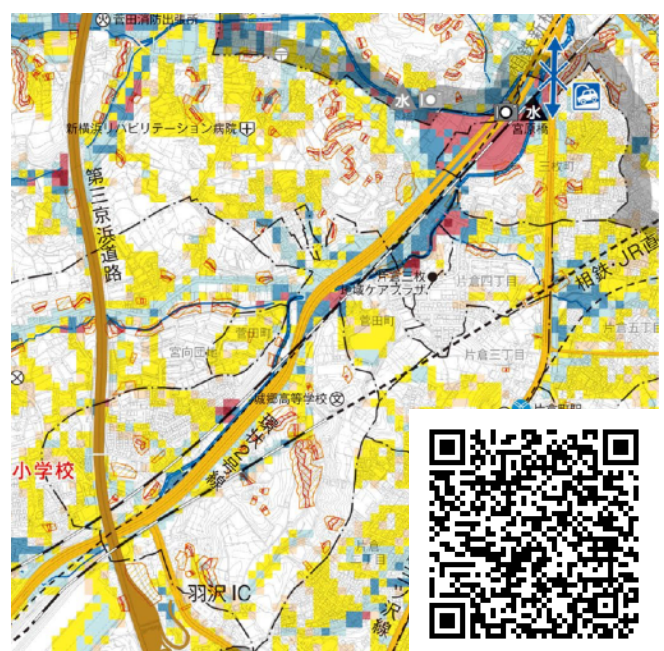
地区ごとの警戒レベルなどを知らせる、横浜市防災情報Eメールの登録ページ →



まずは、ご自宅が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っているか、一度ハザードマップで確認してみましょう↓



洪水(河川から水があふれること)ハザードマップ
新幹線の高架下は通れなくなる危険があります



内水(下水などから水があふれること)ハザードマップ
傾斜地であっても内水の危険があるようです